

学校運営協議会 全日制部会 議事録

校名	府立大手前高等学校
校長名	村田純子

開催日時	令和 6 年 10 月 28 日(水) 14:30 ~ 16:30
開催場所	大手前高校 校長室
出席者(委員)	会長 野口 幸一 奥村 伸二 梶間 貴志 佐藤 恒二 古久保 俊嗣
出席者(学校)	校長 村田 純子 教頭 吉田 憲司 事務部長 木村 浩之 首席 黒松 俊基 首席 森蔭 溪 研究開発部長 文田 憲行
傍聴者	
協議資料	R6学校経営計画 課題研究・SSH事業に関する資料
備考	

議題等(次第順)

- ・校長挨拶
- ・授業見学および評価
- ・令和6年度学校経営計画 進捗のご報告
- ・英国交流のご報告

協議内容・承認事項等(意見の概要)

『授業見学後の評価』

- 1年経っての最後のアウトプットが大事だと思う。校内・校外の発表はどんなものが設定されているか？
A.文系の発表はGLHSの発表会がメイン。理系は校外発表がたくさんあり、大阪サイエンスデーやSSH全国生徒研究発表会、マスフェスタなどがある。
- あれだけのグループ、校外発表のチャンスは何チームくらいあるか？
A.10チームくらい
- 自分たちが主導して発表するまでの価値として、どれだけやりがいを感じれるかが大切。校内発表はどれだけの生徒が見学するか？
A.全員が見る。中間発表はポスター形式で自由に動き回って見学し、最終発表は分科会形式で見学できる。
- 女子のグループ、男子のグループと、グループが偏っているように見えた。賛否両論あると思うが、混合を意図的にすべきだと思う。どう思うか？
A.以前と比べ男女混合グループは増えているが、より意図的にすべきか検討していく。
- 科学系オリンピックへの参加は、学校として生徒にどのように促しているか。
A.数学は学校として持ち上げている。理科は個々に声をかけている。科学の甲子園では今年6位入賞できた。生徒の自主性に任せつつも盛り上げていきたい。
- 外へ発表することで大手前の知名度も上がるのでは。生徒のモチベーションは上がるであろう。
A.去年から中学生向けに課題研究の内容を紹介する企画も実施している。

●研究したいテーマとグループ分けはどうしている？

A.数学は自由に。理科(物理分野)は大まかに分野ごとに分けて進めている。

●グループ内のテーマの揃え方は？

A.グループ内で話合せている。

●テーマを決めるまでの過程がとても大事だと思う。今日見学してて楽しそうだった。

●テーマ決めは重要。熱音響のものを引き継いでたが結果はでていない？

A.専門家はわかっているだろうが、高校生が自力でたどり着く過程を重視している。

●このような活動は全国的に標準？

A.全国でやっているが、大手前はSSH、GLHSに指定されているため特に力を入れている。